

## 音更町総合計画推進委員会会議結果（要旨）

会議名	第4回音更町総合計画推進委員会
開催日時	令和4年12月21日（水） 午後6時30分から午後7時20分まで
開催場所	音更町役場庁舎3階 特別会議室
委員出席者	岡庭委員長、石井委員、内形委員、木野村委員、菅原（美）委員、菅原（博）委員、野久委員
オブザーバ出席者	北海道十勝総合振興局地域創生部地域政策課長 範囲氏
町側出席者	吉田企画財政部長、早苗企画課長、川村企画調整係長、杉本主任、横井主任、津久井まちづくり政策推進員、三橋子ども福祉課長
傍聴者	なし
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委員長あいさつ</li> <li>3 議件 第6期総合計画重点施策及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略推進管理評価調書の検証について</li> <li>4 その他 次回のスケジュールについて</li> </ol>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度第4回音更町総合計画推進委員会議案</li> <li>・ 資料1 第3回総合計画推進委員会 質問・意見に対する回答</li> <li>・ 資料2 移住・定住の促進について</li> <li>・ 資料3 音更町結婚新生活支援事業について</li> <li>・ 資料4 農村地域における情報通信環境の整備について</li> </ul>
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>【第3回総合計画推進委員会 質問・意見に対する回答について】</p> <p>委員：全体の数字（）内の意味について教えてほしい。全体として増加傾向であるのか。</p> <p>事務局：全体の数字は、ガーデンスパ十勝川温泉の施設内にご来場いただいたお客様の人数。そのうち施設内の温浴施設、スパを利用された人数が左に記載の数字である。令和2年度に同施設が道の駅に指定されたことにより来場者が増加したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で宿泊客が減少した。また、宿泊施設で宿泊客にスパの案内をしていたことから、宿泊施設からの送客も少なくなった。</p> <p>【基本目標2の施策（8）移住・定住の促進について】</p> <p>委員：空き家の活用件数について、資料によると令和3年は6件かと思うが、空き家対策協議会の資料によると令和2年度が26件、令和元年度が18件、平成30年度が9件であるため、令和3年度が6件と急に減っているのは理由があるか。</p> <p>事務局：具体的な数字は把握していないが、町内の方が空き家を購入して補助対象となるケースもある。資料では町内移動の件数をカウントしていないため、協議会の資料よりも少ない件数となっているかと思う。</p> <p>【基本目標3の施策（8）移住・定住の促進について】</p> <p>委員：移住件数においても結婚新生活支援においても実績が目標をオーバーしているので良いと思うが、逆を考えると目標に対して実績が多いということであるため、目標値を設定するとき何を基準に設定されたのか経緯を教えてください。</p> <p>事務局：結婚新生活支援事業は平成28年度から実施している事業であるが、当時は周知不足等もあり5、6件の実績であった。令和2年度については、国が少子化対策に本腰を入れ、同事業の年齢や所得などの要件緩和を取り入れたことなどにより、利用実績が2桁の件数となっている。</p>

委員：結婚新生活支援に関しての意見として、最近ジェンダーの問題等いろいろあるが、同性の婚姻とはならないにしろ共同生活をされる方が多くなってきており、札幌や帯広でもそのような方の生活を認めていこうという動きであることを新聞や報道等で聞いている。同性カップルが本町で共同生活をしたいと希望されるのであれば、支援をしていくような方向を考えていただければと思う。

事務局：この場でやりますとはならないが、社会的にそのような方を支援していくような風潮であることは認識している。同性カップルの気持ちや状況を尊重しつつ、今後いろいろと検討していきたいと思う。

委員：補助対象者の項目に記載の、暴力団員という表現についてですが、最近では反社会的勢力などの表現が多いかと思うが、行政上の言葉であるか。

委員：(8)に暴力団員又はこれらの者と密接に関与するものでないこととあるが、確かに暴力団員という表現は今あまり使わない表現である。要綱を作成した際に暴力団員という表現になったと思うが、内部で検討し、表記を変えたほうが良いと判断した場合は、然るべきタイミングで要綱の文言を変えていきたいと思う。

【全体を通して】

委員：基本目標2の施策(9)ふるさと応援寄附金の寄附件数とは、ふるさと納税の寄附件数のことか  
事務局：そのとおりである。

委員：さとふるのサイトを見ると音更町が消えてしまっている。運営機関への登録や更新などの手続きについて知りたい。

事務局：平成26年6月からふるさとチョイスのポータルサイトを利用している。そのあと、楽天や三越、ANA、ふるなびなどポータルサイトの利用を増やし、現在7つのサイトを利用している。多くのサイトを利用した方が件数も増えると思うが、事務処理も多くなり職員の負担も同時に増えている状況であることから、近い将来ポータルサイトの運営に関して業務委託を考えている。業務委託をした暁にはできるだけ多くのポータルサイトを活用し、寄附金を増やしていきたいと考えている。

委員：ふるさと納税をした際の文書送付はメール送信など電子化にならないか。

事務局：今は書類で控除証明書を受取る手続きと、オンライン上で税の控除証明を受取る手続きとがある。本町も、オンライン上で税の控除証明を受取る手続きを活用したいと考えているが、予算の確保や委託先等の検討が必要であることから当面は書類の発送での対応となっている。